

表 第12次マレーシア計画（2021～2025年）の概要

（1）計画の三本柱とそれを支える4つの政策		（2）柱と政策に関連する14のゲームチェンジャー		
<b>計画の三本柱</b>				
<b>1. 経済の再生</b> ・主要産業の成長モメンタムを取り戻すとともに、戦略的で影響力の大きい産業や中小零細企業の発展に焦点。 ・8つの戦略的産業〔電気・電子（E&E）、グローバル・サービス、航空宇宙、クリエイティブ、観光、ハラル、スマート農業、バイオマス〕との発展促進にも注力。	<b>2. 治安・福祉・包摂性の強化</b> 国家の安定維持を目的とした、防衛と安全保障の強化、医療制度の改善、適正価格の住宅提供、アクティブなライフスタイルの促進、統一性の強化。	<b>3. 持続可能性の追求</b> グリーン成長の促進、エネルギーの持続可能性の向上、水資源分野の改革。		
<b>触媒となる4つの政策</b>				
<b>1. 将来に向けた人材育成</b> 人材育成の手段として、産業需要を充足するための労働市場の再編成、教育の質改善を挙げている。	<b>2. 技術導入の加速と技術革新</b> 持続可能な経済成長を確保するため、デジタル化の促進、およびすべての産業分野における新規性のある先進的な技術の採用に力点。	<b>3. コネクティビティー拡大と交通インフラ</b> 安全で信頼性が高く、手頃な価格で持続可能なサービスを提供するために、輸送とロジスティクスインフラの効率性を確保。	<b>4. 公共サービスの強化</b> 人民の幸福度を向上させマレーシアの継続的な社会経済発展を確保するため、三本柱および1～3の他政策を下支えする。	
			①改革と変革の必要性 ②経済成長の促進に向けた、戦略的で影響力の大きい産業の育成 ③新たな成長源としての中小零細企業の改革 ④国家形成に向けた国家安全保障と統一性の強化 ⑤健康で生産的な国を維持するための医療制度改革 ⑥極貧層撲滅に向けたアプローチの変革 ⑦格差縮小に向けたサバ州・サラワク州を中心とした開発途上州の成長増進 ⑧循環型経済の包含 ⑨統合水資源管理の導入加速 ⑩未来志向型人材を生み出すための技術協力・職業訓練エコシステムの改善 ⑪包摂的な開発のためのデジタル連結性の強化 ⑫商業化、富の創出、経済成長に向けた研究開発の連携 ⑬効率化のためのロジスティクスエコシステムの変革 ⑭政府全体アプローチによる公共サービスの変革	

（注）14のゲームチェンジャーは、三本柱ないし4つの政策に紐づく形で設定されている。

（出所）経済企画局（EPU）